

2011年3月7日
東レ株式会社

「エコレールマーク」の企業認定、商品認定を取得

東レ株式会社(本社:東京都中央区、社長:日覺昭廣)は、このたび、国土交通省ならびに社団法人鉄道貨物協会より、環境に優しい鉄道貨物輸送に積極的に取り組んでいる企業として「エコレールマーク取組企業」に認定されました。同時に、当社繊維製品“東レ テトロン”が「エコレールマーク商品」の認定を取得しました。

近年、地球環境問題への取り組みの重要性がますます高まっている中、東レは地球温暖化問題への対応に向けて、グリーンイノベーション事業の推進とともに温室効果ガス排出量の削減に継続的に取り組んでいます。物流部門においては、2006年4月の「改正省エネ法」施行により、特定荷主に対して「エネルギー消費原単位を中長期的にみて年平均1%以上低減する」ことが義務付けられたのを機に、「環境物流」の推進という観点からCO₂排出量の削減に積極的に取り組んできました。

東レは「環境物流」の活動として、①地方港の活用による国内輸送の効率化、②消費地倉庫の導入と地方倉庫の活用、③お客様やサプライヤーとの往復・循環物流の仕組み構築などの取り組みを推進するとともに、CO₂排出量がトラック輸送に比べて約7分の1といわれる鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを積極的に推進してきました。

東レは2010年の製品出荷実績で「エコレールマーク」の企業認定(東レ株式会社)と商品認定(“東レ テトロン”)の取得条件をそれぞれ同時に満たしたことから、今回の認定取得となりました。

東レは長期経営ビジョン「AP-Growth TORAY 2020」のもと、先端材料で世界のトップ企業を目指す中、企業活動のあらゆる領域でInnovation(革新と創造)の経営に取り組んでいます。当社はグリーンイノベーション事業の拡大をはじめ、「環境物流」を推進、取り組みを拡大することで地球温暖化問題への対応に貢献してまいります。



「エコレールマーク」制度は、地球環境に優しい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品または企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。「エコレールマーク」の表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識していただき、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進することを目的としています。

○認定商品

- ・500km以上の陸上貨物輸送のうち30%以上鉄道を利用している商品

○認定企業

- ・500km以上の陸上貨物輸送のうち15%以上鉄道を利用している企業
- ・数量で年間1万5千トン以上または、数量×距離で年間1,500万トンキロ以上の輸送に鉄道を利用している企業

以上